


私達がプラントエンジニア会社として提案する 保全・メンテナンス工事の特徴をご紹介します

当社のグループにはプラント保全・メンテナンス工事を行う会社が2社ございます。ただ単に工事を行うだけでは他の会社と変わりございませんが、当社はJNCエンジニアリンググループとして以下の理念のもと工事提案をさせていただいています。

私達の提案する保全：
「将来（EPC）の糧になるプラントメンテナンスを」

私達は、ユーザー系エンジニアリング会社として、お客様に質の高いプラントエンジニアリングサービスを提供することを目的とし、グループ会社と協力し、保全・メンテナンス業務を行っています。
 一般的な工事会社が提供する保全・メンテナンス業務に合わせ、貴社が製造する製品の特性等に連動する特有の機械劣化や運用状況を把握し、将来の改修・新設に向けたデータ収集を行います。この保全・メンテナンス・運用データがあることにより、将来のEPCがよりスムーズになります。

その理念のもと以下の工事をご提案させていただいています



数千万～数億円程度の増設EPC

プラントエンジニア会社に提案を求めるよりも一回り小さな改修・増設工事に関して、設計から施工・保守までを一貫して対応します。
 構想段階からご相談をいただけますと幸いです。



配管更新・保守・メンテナンス

大掛かりな配管更新から小さなピンホール補修、腐食などによる破損の補修を行います。グループ会社の工場を保有していますので、大掛かりな工事の配管製作も可能です。



回転機・ポンプのオーバーホール

回転機を有する設備の点検から劣化部品・故障部分の補修工事を行います。インターバル点検によるオーバーホール、設置・仕上工事までを一貫して対応しております。



グループ会社工場におけるユニット組み

グループ会社の工場でユニットを製作したうえで、現場へ乗り込むことで現場作業の圧縮を図ることができます。このユニットを作ることができるかといった簡単なご相談からお待ちしています。

IoT化・データ収集・見える化

現在ではセンサーの感度も高くなっており、集められる情報も詳細になってきました。設備・機械の稼働データをより精度高く集めることで、予知保全の材料とすることができます。

工事提案ではなく将来を見越したうえでのデータ収集
ここで集まる情報こそ、将来のEPCでは役立つ貴重な情報です

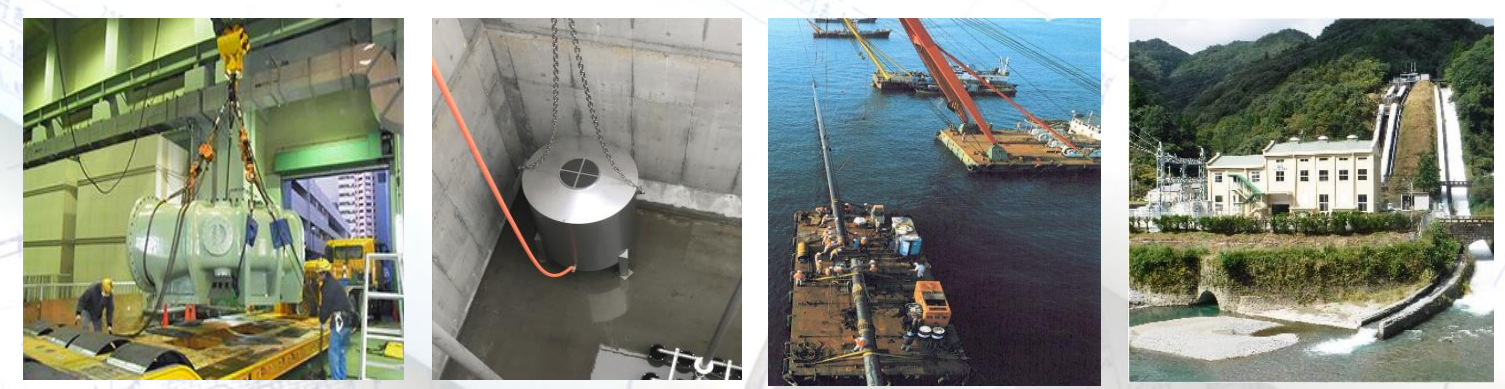
生産技術・開発担当の方々へ

JNCエンジニア通信

プラントエンジニア会社発行の情報誌

JNCE 2020年11月 vol.3
 JNCエンジニアリング(株)

JNCエンジニアリング こんなことも やっていたの？



そのように言われることも多い会社です

JNCEの特徴 会社情報 問合せ先	JNCグループの提案力 JNCグループで培った設計ノウハウ プラント運営ノウハウを提案します。	プロセス開発サポート ラボ・研究所ベースからサポートします。 JNCEの成功・失敗経験を貴社開発に。	FEED～基本設計対応 プラントエンジニア専門だからFS時概算設計、 見積仕様書、基本設計から対応可能。
	JNCエンジニアリング株式会社 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見2丁目3番1号 塚本大千葉ビル 8階 Tel: 043-225-6682 Fax: 043-225-7622 お問合せ担当：営業部 森田		

JNCエンジニアリング株式会社
 〒260-0015
 千葉県千葉市中央区富士見2丁目3番1号 塚本大千葉ビル 8階
 Tel: 043-225-6682 Fax: 043-225-7622

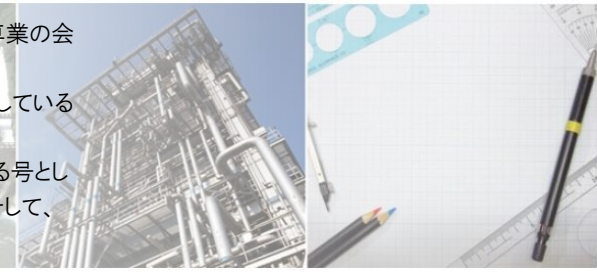
ホームページURL : <http://www.jnc-eng.co.jp/index.html> 《「JNCエンジニア」で検索》

《ホームページQRコード》



ご挨拶 “化学系エンジニア会社”以外の一面をご紹介します。

弊社はJNCグループのエンジニアリング会社として1965年に創業致しました。エンジニア専門の会社として、エンジニアリング技術を高め、お客様にプラントを納品してまいりました。実は、その成長の過程で、エンジニアリング以外の領域にもチャレンジをし、事業として推進しているものもございます。今回は当社のことをより知っていただきたいという事から、弊社の取組みを様々にご紹介する号として作成しております。各事業ともその時代の課題やニーズから生まれたものばかりです。そして、現在もなお、求められる事業であると認識しております。



水力発電所建設 現場で培ってきた技術・施工ノウハウが強み

水力発電所の建設・リニューアル工事を成功させる秘訣は「経験と実績」です。JNCEはこれまで8発電所を経験。現場で培ってきた技術・ノウハウがあることが最大の強みです。

JNCグループの始まりは明治39年の水力発電事業です。現在、九州エリア内に13カ所の水力発電所を保有し、維持・管理しています。設備老朽化に伴うリニューアル工事に着手し、当社が元請として、設計・工事及び試運転までを担っています。水力発電所の建設・リニューアル工事で最も大切なことは、どれだけ多くの経験があるか、設計・施工ノウハウがあるかということです。水力発電所の構成はそれほど複雑なものではありません。しかし、自然を相手にするため、様々な問題が発生することが常です。JNCエンジニアリングはこれまでの成功・失敗の経験も活かし、各現場に即した最適な段取り・スケジュールで設計・工事を進めることが可能です。

JNCEの水力発電所建設・リニューアル工事の3つの特徴 「提案力」「対応力」「施工力」

現場経験が豊富な担当者が現場を指揮することが、水力発電所建設を成功させる秘訣です。当社の水力発電所事業の3つの特徴をお伝えいたします。

- 提案力**：主要水車・発電機メーカーとの経験多数、最適な設計・提案が可能
- 対応力**：8カ所の建設経験と実績を基に、様々な懸案にも柔軟に対応が可能
- 施工力**：九州地区において50社以上の発注実績のある協力会社ネットワーク

施工実績の積み重ねが他社にはない提案へとつながっていきます。

計画・設計・工事助勢でも柔軟なサポートが可能

最近では当社の技術・ノウハウに対する助勢依頼や新規案件の対応依頼が増えています。元請として水力発電所建設の一括請負に限らず、水力発電所の初期段階の計画、設計支援、工事支援等でも、お声がけいただけますと幸いです。当社は、未来の社会に技術力で貢献してまいりたいと考えています。



担当企業 JNCエンジニアリング株式会社

- ◆本社 千葉市中央区富士見2丁目3番1号塚本大千葉ビル8階
- ◆水保事務所 熊本県水俣市丸島町1丁目2番15号

電気加熱システム オイルメジャーにも認められる業界のスタンダード技術

JNCエンジグループ独自技術が業界のメジャーとなる技術に。タンク・輸送管を確実&安全&メンテフリーに加熱（～220℃）させる電気加熱技術。

弊社は、安全で経済的なパイプライン加熱法として、SECT法（Skin Electric Current Thermo）電気加熱設備を開発し、国内・国外の多くのお客様に納入して参りました。配管加熱にて、国内外400件以上、総延長1,100km以上の実績が御座います。高い耐久性、安全性、信頼性、実績はオイルメジャーにも認められ、各社のスタンダードへも採用されています。

「高い耐久性」「温度ムラなし」「高い安全性」「高出力」「エネルギー効率約100%」

これらの特徴を有するSECT法は長距離配管加熱を低コストで実現させることができる技術です。石油業界においてはとても有効な技術であり、それが今までの実績につながっています。今後はこの技術の更なる展開可能性を模索してまいります。自社で活用可能性を検討したいという方はお気軽にご相談ください。



担当企業 JNCエンジニアリング株式会社

- ◆本社 千葉市中央区富士見2丁目3番1号塚本大千葉ビル8階

保全・メンテ工事 エンジ会社の保全・メンテ工事は将来実施するEPCの準備

プラントの保全・メンテナンスに特化した専門部隊をグループ内に保有。メンテナンスや保守・運転データの蓄積が将来行う改修・増築・新設EPCに役立ちます。

プラントの立ち上げはエンジニアリング会社、以降の保全メンテナンスは自社保全全部が担当し、地域の工事会社と共に行っている事業者の方が多いと思います。確かに地域の工事会社に依頼をする方が价格的メリットもあるでしょうし、小回りも効くことでしょう。その中で、当社は敢えてプラントエンジニア会社として保全・メンテナンス工事を提案させていただいています。私達に工事依頼をするメリットはどこにあるのか。それは、将来行う改修・増築・新設EPCの時により現実に即したプラントを建造することにあります。

プラントエンジニアリングで最も重要なモノは現場にある“生きた情報”であり、それを最前線で触れているのが貴社保全担当の方です。

私達、プラントエンジニアリング会社がエンジニアリング業務にあたる際に重要視している情報は「現場で日々発生している情報」です。現状プラントでどのようなトラブルが起きているのか、現在設定している計画保全の在り方はプラントの稼働に対して最適なのか、運用上の不備事項はどこにあるのか。これらの事象の中で現場からの情報として顕在化しているものは共有がありますが、潜在化しているものは知り得る方法はありません。現場で工事にあたって人のみ知る情報です。目の前で発生している事態をデータ化し改善事項として挙げるのが付加価値のあるプラントエンジニアリング業務であると考えています。

当社工事部門はプラントエンジニア会社の一部門としての付加価値を提供することが重要であると考えます。

当社はグループ内の2社のプラント工事会社と協力しています。設備工事から小規模の設備導入の設計・メンテ保全領域まで幅広く対応しています。単なる工事をお納めするだけではなく、将来の大型工事に向けた情報を蓄積する為の工事にも取り組んでいます。JNCエンジニアリングはより品質の高いプラントエンジニアリングを実現させる為、グループ一丸となり、お客様と向き合わせていただきます。



【担当企業】
サンワ工事株式会社 千葉県市原市玉前西3-5-11
JNCセントラル株式会社 熊本県水俣市丸島町1-2-15

排水処理部門 独自の排水処理技術を用いてお客様の課題を解決する

独自技術「自然浄化法リアクターシステム®」では既存施設への小規模改修で処理能力・機能向上を実現させることができます。

当社はJNCグループのエンジニアリング部門が独立したという経緯ですが、時々によって求められる技術を開発してきた歴史も御座います。そのうちの一つが「自然浄化法リアクターシステム®」です。このシステムは、土壌菌群によって自然の山間土壌で行われている有機物を土に戻す作用（腐食作用）を、人為的に排水処理に応用し、排水処理設備の処理能力を向上させることができるというものです。既存の排水工程内に培養槽を設置し、土壌環境物質（微生物培養誘導材）を充填した培養機（リアクター）を付加するもので既存の設備をそのまま利用しながら一部改造することでシステムを導入することも可能というのが特徴です。排水処理において、最も広く活用されている標準活性汚泥法を応用した技術であり、悪臭の発生を抑制、抗菌作用、高濃度の排水処理が可能、水質の安定化など多くのメリットがあります。

リアクターシステムを起点に排水処理設備のプロへ。様々な設備の提案～導入をサポートしています。

本システムは汚泥活性法を活用できる事業所では大きな成果を実現させてきました。そのような実績を踏まえていく中で当社は様々な排水処理設備を扱う事となりました。排水処理設備は対象となる排水の種類と現状の課題によってその提案の幅は多岐にわたります。排水の質が安定しない、一時的に負荷がかかってしまい困っている等、今まで当たり前と思っていた課題をご相談いただくところからお声がけいただけますと幸いです。



担当企業 JNCエンジニアリング株式会社

- ◆本社 千葉市中央区富士見2丁目3番1号塚本大千葉ビル8階
- ◆水保事務所 熊本県水俣市丸島町1丁目2番15号